



①落ち着いた雰囲気の中で宿泊もOK ②炭火で炙って食べるステーキは絶品! ③デザートは炭火でこんがり焼いた鯛焼き ④五感で自然を楽しむ滑床キャンプ場 ⑤滑床渓谷はマイナスイオンたっぷり ⑥アウトドアに欠かせない直火用調理器具

BBQ城主 肉本 龍馬(BBQ侍)さん

熱した炭をBBQコンロに並べるときには、中央に固めておくとういでおござる。火力の強弱をつけることができ、焼き具合を調節できるぞよ。BBQはみんなで協力しあって楽しむものじゃ。家族BBQなら子どもにも役割をつくってあげると良いであろう。

防災レシピ 防災にも役立つ野外のテクニック

薪ストーブ&羽釜でご飯を炊いてみよう!



災害でライフラインが止まった際、薪ストーブは大変重宝します。屋外で使用するものは1万円前後でアウトドアショップなどで手に入ります。暖をとるだけでなく、熱調理器として煮炊きにも使えます。そこで薪ストーブ炊飯をご紹介します。

[用意するもの] ●米 ●水 ●羽釜 ●薪ストーブ ●軍手 ●うちわ ●火吹竹 ●火バサミ ●バケツ

①薪ストーブに火をつけます。火の上昇気流を助けるため、薪は横向きではなく斜めに起こして置きましょう。うちわや火吹竹で空気を送り込み、温度を上昇させます。



②薪ストーブの火力が安定したら、お米と水をセットした羽釜を薪ストーブに置きます。水の量は、羽釜の大きさに関わらず、人差し指の第一関節より少し上程度が目安。



③引き続き、薪をくべたりうちわや火吹竹で適宜空気を送り込んだりして火力を維持します。沸騰してくると釜が鳴くので、その声が聞こえたら火力を落とします。



④泡が吹きこぼれてきたら羽釜を薪ストーブから上げて蒸らしに入ります。30分ほど蒸らせば完成です。

※炊け具合が心配な場合は、途中で蓋を開けてもOK。水分が飛んでいるか確認して薪ストーブから引き上げましょう。

※火の始末はしっかりと! 灰が周囲に飛んでいる可能性がありますので、薪ストーブの周辺もバケツの水をかけておきましょう。



防災にも役立つのがファイヤースターター。ロッドという金属製の棒と、ストライカーと呼ばれる金属道具がセットになっており、火打石の要領で火を起こせます。100円ショップでも扱われているので、一度チェックを。



愛媛県伊方原子力広報センター

原子力発電や放射線について、展示パネルや地形模型、映像等で紹介しています。ご自由に見学していただけますので、ぜひご来館ください。

ご利用案内

- 開館時間／午前9時～午後4時 ●休館日／祝日及び12月29日～1月3日
- 所在地／〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦1995-1 伊方町民会館内
Tel.0894-38-2036 Fax.0894-38-2026 URL <https://www.ikata-dr-sada.or.jp/>
- 交通／JR八幡浜駅から車で約20分 ●入場料／無料(団体での見学はあらかじめご連絡ください。)

発行／愛媛県 編集／公益財団法人 伊方原子力広報センター
令和3年12月 〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1995-1(伊方町民会館内)
[TEL] 0894-38-2036 [FAX] 0894-38-2026

Soleil 2021 冬号 No.163 紙面についてのご意見・ご感想は公益財団法人 伊方原子力広報センターまでお寄せください。



えひめ原子力だより それいゆ

Soleil

2021
Winter
No.163

人生を豊かに、
日々を健やかに

愛媛の「野遊び」を楽しむ



Contents

- P1 伊方発電所3号機の運転再開について了承しました。
- P3 愛媛県原子力防災訓練を実施しました。
- P4 環境放射線等調査結果をお知らせします。
- P5 講演会のご案内
- P6 愛媛の「野遊び」を楽しむ Vol.3

おはなはん通り(大洲市)

江戸時代の町割と家並が残された通り。ここでロケが行われたドラマ「おはなはん」にちなんで、この名で呼ばれています。



伊方発電所3号機の運転再開について了承しました。



伊方発電所3号機の運転再開に関する知事メッセージを紹介します。

11月19日、四国電力の長井社長と面会し、昨年1月の連続トラブルおよび本年7月の保安規定違反に係る四国電力の対応について「伊方原発環境安全管理委員会の意見」、「伊方町の判断」、「県議会の議論」を踏まえ、咀嚼した結果、その内容を妥当と判断し、3号機の運転再開については、要請事項の遵守を条件に了承する旨を伝えましたので、ご報告いたします。

伊方発電所で昨年1月に発生した連続トラブルについては、県民の信頼を著しく低下させる事案であり、県としても信頼回復に努めるよう要請していた中、本年7月、重大事故等対応要員が宿直中に無断外出するという保安規定違反が発覚し、県民の信頼を更に失墜させたことは、大変遺憾であり、県としては、これらの問題に対して、経営トップも含め、四国電力全体としての十分な取り組みが確認できるまでは、法律上は問題ないとしても、手放しで伊方3号機の運転再開を認めることはできないという厳しい姿勢で臨んでまいりました。

その後、連続トラブルに係る再発防止策や県からの要請事項に対する取り組み、そして保安規定違反の再発防止策について、伊方原発環境安全管理委員会において専門的な立場から幅広く審議いただき、「四国電力の取り組みは妥当である」旨の報告を受けるとともに、伊方町からは、11月5日に町長から運転再開を認めるとの立地町としての判断をいただきました。

それに加えて、11月18日には、県民の代表である愛媛県議会での議論の結果について報告を受けたところであり、議論の中では、「四国電力の対応は適切」、「運転を再開するのであれば安全性の向上に努めること」などのさまざまな意見があったと聞いています。

また、私自身も10月15日に発電所に赴き、それぞれのトラブルや保安規定違反に係る再発防止策の実施状況に加え、特定重大事故等対処施設の設置状況や電源に係るアディショナルな対策について、時間をかけて一つ一つ丁寧に説明を受け、自らの目で直接見ることで、四国電力が、県からの要請事項等を真摯に受け止め、発電所全体として再発防止策に取り組むとともに、安全対策の強化を行っていることを確認しました。

一連の事案に対する四国電力の取り組み状況について、「伊方原発環境安全管理委員会の意見」、「伊方町の判断」、「県議会の議論」、そして現地確認の結果を踏まえ、総合的に検討した結果、四国電力の対応は妥当と判断し、本日、私から長井社長に対し、伊方3号機の運転再開を了承する旨を伝えるとともに、県としての要請書を手交し、3号機の運転を再開するに当たっては、長期間停止した後であることにも留意して、伊方発電所の安全確保に万全を期すよう、緊張感を継続してしっかりと取り組むことを強く求めました。

なお、了承に当たった要請内容は次のとおりです。

- ①福島第一原子力発電所事故の教訓を決して忘れることなく、安全最優先の取り組みを行うとともに、二度と要員の無断外出のような事案を発生させないよう、経営トップから協力会社社員一人一人に至るまで、原子力事業者としての責任や使命を自覚するよう改めて徹底すること
- ②再発防止策の確実な実施はもとより、これまで以上に安全性向上に努め、技術力の維持・向上や安全文化の醸成に取り組むこと。また、再発防止策や安全文化の醸成活動の実施状況について、県民に対してより一層丁寧に説明し、県民の信頼の回復に努めること

- ③かねてより要請している「えひめ方式」の通報連絡体制の徹底について、「えひめ方式」が信頼関係の根幹であることを再認識し、遺漏なく実施すること

四国電力には、本日が「ゴール」ではなく、安全運転の継続と県民の信頼回復に向けた「スタート」であることを肝に銘じ、気を引き締めて対応してもらいたいと考えています。

県では、本日要請した内容について、四国電力の取り組み状況を注視するとともに、必要と思われることは、しっかりと対応を求めていくなど、今後とも、伊方発電所の安全確保に全力で取り組んでまいります。

令和3年11月19日

愛媛県知事 中村時広

これまでの主な経緯

年 月 日	内 容
令和2年1月	連続トラブルの発生 - 中央制御室非常用循環系点検に伴う運転上の制限の逸脱(1月6日) - 制御棒クラスタ引き上がり(1月12日) - 燃料集合体点検時の落下信号発信(1月20日) - 所内電源の一時的喪失(1月25日)※定期検査を中断
令和2年1月27日	知事－四国電力社長面会 四国電力社長が知事に連続トラブルの状況を説明
令和2年3月17日	知事－四国電力社長面会 四国電力社長が知事に再発防止策に係る報告書を提出
令和2年7月16日	伊方原発環境安全管理委員会原子力安全専門部会 四国電力の報告書を適当とし、要請事項を取りまとめた部会報告書(案)を了承
令和2年7月29日	伊方原発環境安全管理委員会 原子力安全専門部会での審議結果を了承
令和2年8月3日	知事－四国電力社長面会 連続トラブルの再発防止策及び定期検査再開を了承するとともに、要請書を手交
令和3年7月2日	伊方発電所における過去の保安規定違反について通報
令和3年9月2日	伊方原発環境安全管理委員会 連続トラブルの再発防止策及び県要請事項のうち、速やかに実施すべき項目への対応について完了した旨意見を取りまとめ
令和3年9月10日	知事－四国電力社長面会 四国電力社長が知事に保安規定違反の再発防止策に係る報告書を提出
令和3年10月15日	愛媛県知事が伊方発電所を視察
令和3年10月25日	伊方原発環境安全管理委員会 保安規定違反の再発防止策は妥当との意見を取りまとめ
令和3年11月5日	知事－伊方町長面会 連続トラブル及び保安規定違反に係る四国電力の対応は妥当と判断し、伊方3号機の運転再開を認める旨報告を受ける
令和3年11月16日	愛媛県議会防災減災・エネルギー対策特別委員会 連続トラブル及び保安規定違反に関する四国電力の対応について議論
令和3年11月18日	知事－県議会議長面会 防災減災・エネルギー対策特別委員会における議論の結果について報告を受ける
令和3年11月19日	知事－四国電力社長面会 要請事項の遵守を条件に伊方発電所3号機の運転再開について了承

令和
3年度

愛媛県原子力防災訓練を実施しました。

令和3年10月15日(金)に、県内で感染症が流行している状況下において、伊方発電所で事故が発生したとの想定で、県内市町、国及び周辺県等と連携し、原子力防災訓練を実施しました。

今年度は感染リスクを避けるため、一般住民の参加を見合わせ、防災業務従事者のみで実施しましたが、海路避難(海上保安庁、海上自衛隊の船舶及び県漁業取締船)における感染症対策、避難先の市町を含めた関係機関とのテレビ会議、ドローンの実証実験、緊急時モニタリング訓練などを実施し、万が一の事態に備えて防災関係機関との連携及び習熟を図ることができました。

実施日時

令和3年10月15日(金) 8:30~15:00

参加機関及び人数

68機関 約19,000人

訓練項目



災害対策本部会議



関係機関とのテレビ会議
(伊方町役場)



関係機関とのテレビ会議
(愛媛県庁)



県災害対策本部会議

住民避難・誘導訓練



クリーンエアドームの展張訓練
(瀬戸総合体育館)



ドローン実証実験



海上保安庁 巡視艇おきなみ
(三机港)



県漁業取締船
(三崎港)



海上自衛隊 水中処分母船4号
(三崎港)

緊急時モニタリング訓練



緊急時モニタリングセンター
(県オフサイトセンター)



可搬型モニタリングポストの
設置



環境試料の採取



環境試料の分析測定



スクリーニング検査

環境放射線等調査結果をお知らせします。

令和3年4月~令和3年6月

愛媛県と四国電力㈱は、伊方発電所周辺の環境保全を図るとともに公衆の安全と健康を守るために、発電所周辺の環境放射線や放射能の調査を行っています。



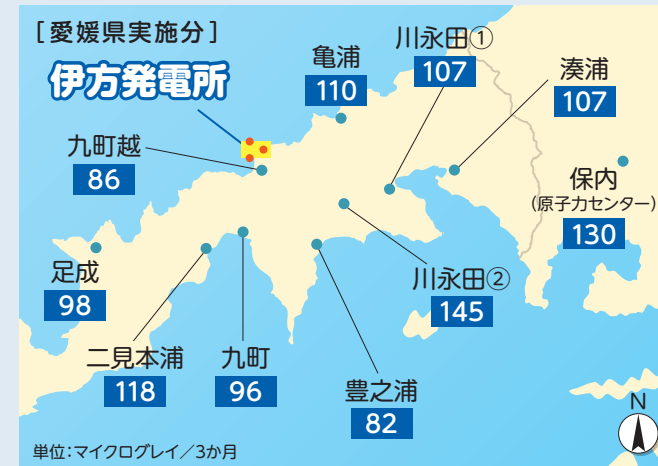
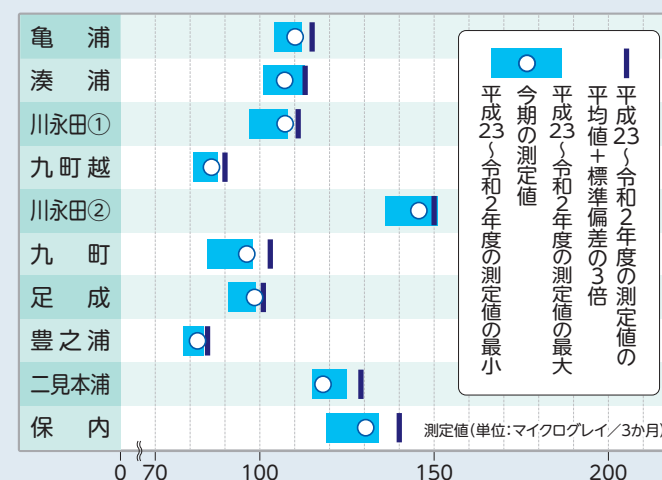
伊方発電所周辺の環境放射線量(代表的な地点の例)

伊方発電所の周辺41地点のモニタリングポイントでの4月~6月の3か月間の測定値は、どの地点も、これまでの値と同程度で、**異常はありませんでした。**

環境放射線量

環境における放射線の3か月間の積算線量で、ほとんどがその地点における大地からの放射線と、宇宙線によるものです。

▶平成23年度以降の測定値との比較



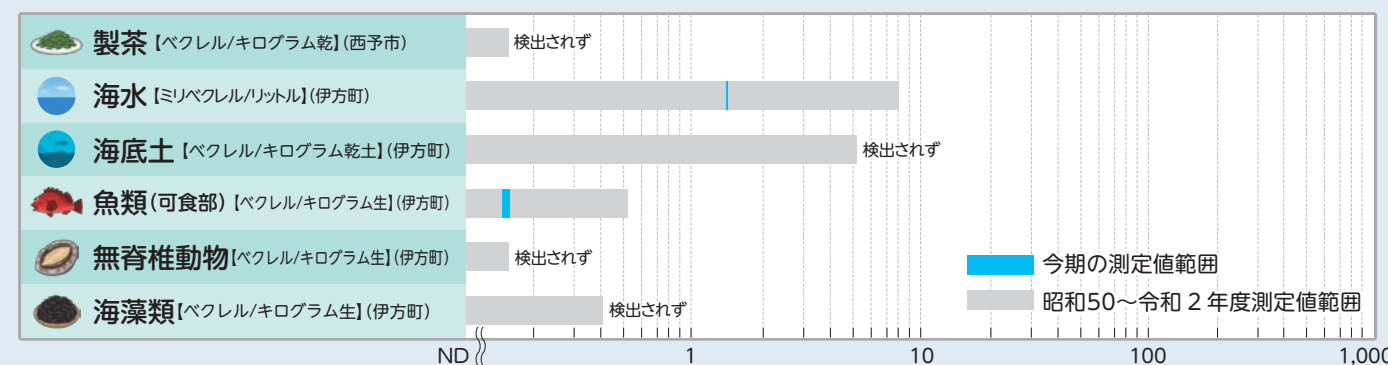
環境放射線のリアルタイムのデータや過去の測定結果は

「愛媛県原子力情報ホームページ <https://www.ensc.jp/pc/main/index.html>」でご覧いただけます。

環境試料の放射性核種分析結果

伊方発電所周辺の環境試料中の放射性物質の分析結果は、過去の調査結果と同じレベルで、**異常はありませんでした。**なお、セシウム-137がわずかに検出されていますが、これは伊方発電所1号機運転開始前から継続して検出されているもので、人体への影響上、問題となる濃度ではありません。

▶セシウム-137の放射能測定結果(愛媛県測定分)



講演会のご案内

参加無料

原子力やエネルギーに関する知識を深めていただくための講演会を
下記の3会場で開催いたします。

講演 1

松山 会場

- 日時 令和4年1月15日(土)
13:30~15:30
- 場所 愛媛県武道館 大会議室
- 定員 60名
- 講師 独立行政法人経済産業研究所 コンサルティングフェロー
東京大学公共政策大学院 特任教授
あり ま じゅん
有馬 純 先生
- 演題 『2050年カーボンニュートラルと原子力の役割』



講演 2

宇和島 会場

- 日時 令和4年1月19日(水)
14:30~16:30
- 場所 宇和島市吉田公民館 大ホール
- 定員 50名
- 講師 NPO法人あすかエネルギーフォーラム 理事長
元内閣府原子力委員
あき ぼ えつ こ
秋庭 悦子 先生
- 演題 『暮らしの視点で考える原子力』



講演 3

大洲 会場

- 日時 令和4年2月19日(土)
9:30~11:30
- 場所 大洲市総合福祉センター 4F 多目的ホール
- 定員 80名
- 講師 (一財)日本エネルギー経済研究所 環境ユニット 担任補佐 研究主幹
さ さ き こう いち
佐々木 宏一 先生
- 演題 『地球温暖化とエネルギー
~われわれができることは?~』



新型コロナウイルス感染症予防対策のため、マスクの着用と検温及び手指消毒等へのご協力をお願いいたします。
感染拡大の状況によっては、やむを得ず中止または内容変更となる場合がございます。

お申し込み先

公益財団法人 伊方原子力広報センター

TEL:0894-38-2036(受付時間:9時~16時 祝日除く)

ホームページ:https://www.ikata-dr-sada.or.jp/

*お申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。



お申し込み
お待ちしております!

人生を豊かに、日々を健やかに

愛媛の「野遊び」を楽しむ

今だからこそ、自然の中に癒しを求めたい...
そこで愛媛の癒しスポットにお出かけしませんか。
澄んだ空気を胸いっぱい吸い込み自然と触れ合う「野遊び」を楽しんで。
いざという時に生かせるアウトドアの知恵もあわせてご紹介します。

Vol.3



肱川の流れを一望し、お手軽にキャンプ

大洲家族旅行村オートキャンプ場

風光明媚な富士山の中腹にあり、16区画のオートキャンプサイトは、2サイトが電源付き。炊事棟、またバーベキュー施設(有料)では、調理も思いのままです。サイト利用料と4名分のキャンプ用品がセットになったお手軽キャンプセットなど、アウトドア初心者向けのプランも充実。4棟のコテージで、別荘気分を味わうのもいいですね。

- 住/大洲市菅田町大竹乙938-1 ●TEL/0893-23-2384
- 予約受付時間/8:30~17:00(利用前日の17:00までに予約を)
- 休/無休 ●駐/無料
- 料/オートキャンプサイト1区画(車1台5人まで)2,200円、電源使用料500円
6人用コテージ(4人まで)11,000円(追加料金1人につき1,100円)
※利用料は12月29日~1月3日は2割増

- ①お手軽キャンプセットはテントや調理器具、寝具がセットに。食材を持ち込めばOK(5,700円)
- ②プライベートタイムを満喫できるコテージは全4棟 ③コテージは別荘感覚で利用できます
- ④緑豊かなキャンプ場 ⑤ルールを守ればペット同伴も可能。予約時に相談しましょう



BBQ侍からコツをしっかりと学びましょう!

レクチャーを受けるときは、
参加者も待言葉を使うのがルール



古民家を改装したBBQ城

キャンプの醍醐味、BBQの達人に!

BBQ城と滑床キャンプ場



アウトドアの楽しみといえば、キャンプ飯。なかでもBBQ(バーベキュー)は、肉や海鮮、野菜はもちろんデザートまで、直火で焼いて美味しく食べることができます。そこで松野町のBBQ城を拠点に活躍するBBQ侍に、その醍醐味を教えてもらいました。ここで身につけたテクニックは、同じ松野町にある滑床キャンプ場などで生かしましょう!

- 〈滑床キャンプ場〉●住/北宇和郡松野町目黒滑床 ●TEL/0895-49-1535(滑床アウトドアセンター万年荘)
- 予約受付時間/9:00~17:00 ●休/不定休 ●料/キャンプ場利用1人300円 ●駐/無料

BBQ侍に出会えるBBQ城



2020年4月、JR松丸駅前に開城した体験型民宿。BBQ侍の異名をもつ城主の肉本龍馬さんナビゲートのもと、初心者でも気軽にBBQが楽しめます。大きなお肉を丸ごと焼いたり、鹿肉をアヒージョにしたり、鯛やヒオウギ貝の海鮮を楽しんだり...。城での手の込んだ料理もBBQ侍と一緒に手の物。城から滑床キャンプ場への出張指導もOK。またBBQは滑床渓谷で、宿泊は民宿というプランもおすすめ。お風呂は松丸駅のぽっぽ温泉を利用できます。

- 〈BBQ城〉●住/北宇和郡松野町松丸244 ●TEL/090-6286-9689
- 料/侍のきまぐれBBQコース 大人4,000円~(大人4名以上の予約制) ●駐/無料(松丸駅無料駐車場)